

第 11 回

こんな時代にロシア語のすすめ

「こんなところでドイツ語のすすめ」

黒田 龍之助

4 月です。外国語を始める季節ですね。この春はロシア語を学んでみませんか。

.....というような話題は、今年も止めておくことにします。ロシア語をめぐる状況は 1 年経ってもまったく変わりません。相変わらず人気がない。その理由は、外国語を始める人の多くが旅行したいからかもしれません。国際情勢を考えれば、ロシアへは旅行ができないと信じている日本人が圧倒的。旅行社である JIC もつらいわけです。

大学生の場合は多くが実学志向、つまり役に立つ外国語を求めるので、ロシア語はどうしても不利になります。将来使えて、簡単で、ついでに愛される言語を選びがちなのは仕方ないでしょう。

そこで発想を変えます。選択必修の第 2 外国語ではなく、第 3 外国語を目指すのはどうでしょうか。たくさんの外国語を学びたいという意欲のある学生にアピールして、ロシア語を学ぼうよと声をかけるのです。わたしが教える大学のロシア語のクラスは、そういう学生がほとんど。ただしそんなふうに考えてくれるのは 1 年生ではなく、ふつう 2 年生以上。大学生活が 1 年以上経過して、余裕ができた頃に 3 番目の外国語を学んでくれるのも、決して悪くはありません。さらには 4 番目、5 番目の外国語を学んでも、学費は同額です。

わたしの第 3 外国語は、大学 2 年生のときに選んだドイツ語でした。そのときの話は『寄り道ふらふら外国語』(白水社)に書きましたので、ここではくり返しません。週 1 回 1 年間の授業で初級文法をひと通り詰め込まれて大変でした。当然ながら話せるレベルには到達しなかったのですが、実をいえば後の人生でときどき役に立ちました。しかもソ連やロシアでの話です。

ソ連時代はいろいろと物不足だった話はずいぶん耳にしましたが、それは食料品や生活用品に限らなかつたようです。旅行者にとって困ったのは、市内地図が売られていないこと。いや、ないことはないのです。ただそれがロシア語でも英語でもなく、ホテル内の売店や街の新聞スタンドに残っているのは、なぜかドイツ語版でした。ドイツ人は旅行好きだとの噂もありますが、ソ連はドイツ人訪問客を上回る数の地図を作ってしまったのでしょうか。

かつて旅行したときに買い求めた市内地図は、今でも大切に保存しているのですが、探してみればタリン、リガ、オデ

Intourist empfiehlt folgende Besichtigungsfahrten für Reisegruppen und Individualreisende:

● Stadtführung (Dauer: 2 bis 3 Stunden).

● nach Jarmala, dem Kurort an der Küste der Riger Bucht (20 km von Riga entfernt).

● nach Sigulda, dem landschaftlich schönen Gebiet Lettlands, im Nationalpark „Gauja“ (60 km von Riga entfernt).

● in die Hauptstadt Sempjehofen – Tallin – durch die landschaftlich reizvollen Gebiete Saikraai, Ainali, Permsi (100 km von Riga entfernt).

● Gruppenfähige auf dem Pfad Dangava und in der Riger Bucht mit dem Tragflügelboot „Rakete“.

● in das Lettische Ethnographische Freilichtmuseum, einem der Museen der Sowjetunion.

● nach Ogre, dem Kurort am Ufer der Flüsse Dangava und Ogre (18 km von Riga entfernt).

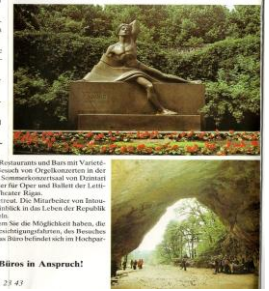
● zur Mahn- und Gedenkstätte für die Opfer des faschistischen Terror in Salaspils (17 km von Riga entfernt).

Auf dem Wunsch organisiert Intourist Touren in den besten Restaurants und Hotels. Visumprogramm in Riga und Jarmala, besetzt für Sie Karten für den Besuch von Orgelkonzerten in der Domkirche, für die Konzerte in der Staatlichen Philharmonie und im Sommerkonzert am Domplatz. In Riga werden Sie, wie überall in der UdSSR, von Intourist betreut. Die Mitarbeiter von Intourist werden alles in ihrem Kräfte-Stehende tun, um Ihren Aufenthalt in der Landeshauptstadt zu gestalten und Ihnen viele interessante Eindrücke zu vermitteln.

Die Riger Intourist-Zentrale besitzt ein Service-Büro, in dem Sie die Möglichkeit haben, die unterschiedlichsten Anträge zu Fragen der Organisation von Besichtigungsfahrten, des Besuchs von Museen, Theatern, Konzerten und Restaurants zu erhalten. Das Büro befindet sich im Hauptquartier des Hotels „Latvija“ und ist rund um die Uhr geöffnet.

„Nehmen Sie bitte die Dienste des Service-Büros in Anspruch!“

Telefon: 21 17 81, 21 22 06, 21 23 43



(写真)ラトビアの首都リガの市内地図にあったインツーリスト旅行社の広告(ドイツ語版)

ッサはドイツ語版でした。眺めていると当時の苦労を思い出します。Museum だったら、英語から類推がつかます。でも Geschichte は、ええと、そうだ、「歴史」だった、授業中にやったな。だから歴史博物館に違いない。でも Denkmal なんではじめて見る単語。でも Lenin-Denkmal ということは、きつと記念碑じゃないか。こんな感じで頭を捻ったものです。

バルト諸国はドイツ語がとくに多かった気がします。

1990 年代はじめに JIC の通訳としてその一つに行つたのですが、同じホテルに泊まっていた外国人団体は、お互いの間でドイツ語を話していました。夕食のとき、このグループと一度だけいっしょになったことがあります。ほとんど同じところに食事を始めたのに、わたしたちのほうが少ないだけ先にコースが進み、こちらがお茶を飲んでいるところに、あちらのグループはデザートとなりました。頼んだコースが違つたのでしょう、わたしたちのデザートはケーキだったのですが、ドイツ人団体のほうはアイスクリーム。わたしたちのグループにはアイスクリームが大好きな女性がいて、彼らに運ばれるデザートを思わずうっとり眺めていたらしい。すると年配のドイツ人男性が席を立ちあがり、自分のアイスクリームをその女性に運んできたのです!

わたしたちはビックリしたのですが、その方は満面の笑みで「いやいや、わたしはもう歳で食べられませんので」。もらった女性は大喜びでアイスクリームを食べています。それを眺めていた別の日本人女性に、今度はドイツ人女性がアイスクリームを運んできました。気がついたらわたしたちのグループは、女性も男性もみんなドイツ人グループからアイスクリームをいただいてしまったのです。よっぽど物欲しげな顔をしていたのでしょうか。いま思い出しても恥ずかしい。

お礼も兼ねて、わたしはこのグループに英語で話しかけました。観光旅行ですか。それに対して最初にアイスクリームを運んだ男性が「まあ、センチメンタルジャーニーといつたところでしょうか」。わたしが理解できずにいると、相手は静かに、

「わたしたちは昔、この町に住んでいたのです」

第二次世界大戦後に国境が変わり、ドイツ系住民の一部は

移住を余儀なくされました。長いこと戻ることのできなかった懐かしい故郷が、ソ連崩壊によって再び訪問することが可能になったのでしょう。詳しい話を聴きたかったのですが、相手はロシア語がダメ、英語もそれほど得意ではなかったようで、それ以上は無理でした。わたしはなげなしのドイツ語で、ごめんなさい、わたしはドイツ語が話せないんですという、「いえいえ、あなたのドイツ語はお上手ですよ」と、にっこりお世辞をいってくれました。

このときはバルト諸国がソ連内でも例外的な地域なのだと考えていました。しかしそうでもなかったのです。

あるとき、これも JIC から派遣されて、日本とロシアの大学生が交流するプログラムで通訳をすることがありました。モスクワの大学を訪れ、日本人もロシア人も母語ではなく外国語を使い、お互いにディスカッションするのです。教室に案内されると、こちらを待ちうけていたロシア側のリーダーがこういいました。

「学生は英語を話すグループと、ドイツ語を話すグループがあります」

つまり日本の大学生は自分の得意な外国語を選べというわけですが、当然ながら日本側は全員が英語、ドイツ語ができる者なんてひとりもいません。そこでドイツ語のできるロシア人学生数名のお相手は、わたしがしました。わたしだって当時は大学院生だったから、学生交流に参加してもおかしくはありません。ただしドイツ語ではなくてロシア語です。

わたしは学生たちに質問しました。どうして英語じゃなくて、ドイツ語を選んだのですか？その答えはさまざまで、バルト諸国のようにドイツ語話者がいる地域が出身だからという学生もいましたが、それ以外にも、ソ連と仲のよかった東ドイツ（ドイツ民主共和国）との交流がきっかけとか、外国語を習い始めるとき自分の学校にはドイツ語しかなかったというような人もいました。ドイツ語をはじめた理由は、みんなそれぞれだったんですね。彼らの話を聞いているうちに、ドイツ語で話してみたい気もしましたが、残念ながらそれはやっぱり無理でした。

ふり返ってみれば、ソ連・ロシアではドイツ語と出会うことがときどきありました。ロシア語や英語ができればコミュニケーションとしては問題ないのですが、それでもドイツ語が少し分かるだけでなかなか面白かったですし、もっと知っていれば興味深い話が聞けたことでしょう。

このインフォメーションの読者でしたら、英語はもちろん、ロシア語にもすでに触れていらっしゃる方が多いことでしょう。ではこの 4 月は新たにドイツ語を学んで、ソ連・ロシアに新しい目を向けるというのはどうでしょうか。新しい外国語をはじめるとは、いつだって楽しいものです。

そしてついながら、ドイツ語が得意な方は新たにロシア語にも触れていただければ幸いです。

JICのロシア語留学・研修

35 年間の実績だから、JIC のロシア語留学

JIC ロシア語留学研修は、JIC 国際親善交流センターが日本で最初に旧ソ連・ロシアの諸大学と直接契約により開始した私費留学システムです。この 35 年間で JIC がロシアに送り出した留学生は長期・短期合わせて 4,500 名以上にのぼります。

安心の現地アフターケア

留学中はできる限り自分のことは自分でやっていただくのが語学力上達の道です。しかし、一人ではどうしても解決できない大学との交渉ことや、緊急事態の際の連絡対応など、留学中の皆様をバックアップするために、JIC では各受入機関と緊密な連絡体制を整えています。

ロシア語長期留学 9 月生・募集中



オンライン
相談 受付中!

期間：2025年9月1日より10ヶ月

締切：2025年6月13日

モスクワ国立大学 1,250,000 円(授業料 10ヶ月)

サンクト・ペテルブルグ国立大学 1,039,000 円(授業料 10ヶ月)

ゲルツェン教育大学 998,000 円(授業料 10ヶ月)

ウラジオストク極東連邦大学 480,000 円(授業料 10ヶ月)

シンスク国立言語大学 422,000 円(授業料 10ヶ月)

※上記の金額以外に別途、寮費、手配料、渡航費用、ビザ代金
および取得手数料などがかります。

ロシア以外の国でのロシア語留学の手配も可能です！
(中央アジア、バルト諸国など)

◆JIC ロシア留学デスク◆

電話またはメールでご連絡ください。

東京事務所 平日 9:30-16:30 03-3355-7294

※留学相談はオンラインで行っております(要 事前予約)

◇◆編集後記◆◇

▼本号は、いきなり長大な講演録 2 本から始めました。どちらも重要な内容です。「トランプ停戦交渉」を外交の専門家はどう見るか。ウクライナ戦争に反対してロシアから追われた映画評論家は、戦争下のロシア映画産業とロシア社会の変容をどう分析しているか。教えられることが多々あります。▼いよいよ日ロ関係、日ロ交流を再起動する時です。停戦交渉の行方を見守りながら、私たちは今できることをやり続ける決意です。JIC は旅行・留学・文化交流の分野での日ロ交流拡大に取り組みます。読者の皆さんからの反応、声かけが大きな力です。よろしく願いいたします。(F)